



発行所 魚船海難遺児育英会 〒101-0047 東京都千代田区 内神田2丁目2番5号 光正ビル6階 電話 03 (3256) 1981 FAX 03 (3256) 1982 E-mail:mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp 水色の羽根募金運動



理事長 鈴木善孝

平成十五年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は漁業協同組合等をはじめ、多くの皆様方から寄せられました漁船海難遺児育英事業に対する温かいご支援とご理解に心よりお礼を申し上げます。

昭和四十年、マリアナ諸島アグリガン海域において、台風により二〇〇余名の犠牲者が一日にして発生した海難事故を契機として、漁業組合等を中心とした「漁船海難遺児を励ます運動」が全国的に広がり、その運動を推進するため水産界全体の総意として、本育英会は昭和四十五年十月に発足いたしました。爾来、漁業関係者や国民の多くの皆様方の深いご理解と温かいご支援に支えられ、基金造成に努めつつ、育英制度の改善、及び給付水準の充実を図って参りました。

平成十五年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。状況に変わりありません。長期にわたる低金利と不況の下で、安定的に育英事業を推進するために、基金の造成をより一層の必要を痛感しております。私共は機会あるごとに「水色の羽根募金運動」を通じて、広く国民の多くの皆様方にご理解を得られますよう努力して参りたいと考えております。また、平成十二年度を初年度として五カ年間の「第八期募金運動」を実施しております。今後とも、多くの皆様方のご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

水産業を取り巻く内外の情勢は極めて厳しいものがありますが、現在の困難を乗り越えるためには、漁業関係者の皆様のご協力と団結が必要だと考えております。海難事故や労働災害事故は関係者の皆様のご努力により、年々減少してはおりますが、未だに悲惨な事故が後を絶ちません。今年度も事故は大きく減少してはおりますが、それでも三〇名近い遺児を奨学生として採用するに至りました。関係者の皆様の事故防止にのみならず、進学を促すことにより、生活費を考えると、進学を促すことにより、お一層のご努力を切望してやみま



魚船海難遺児を励ます全国協議会

会長 植村正治

新年明けましておめでとうございませう。日頃より、漁船海難遺児育英事業につきましましては、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年はJF全漁連が幾星霜を越えて五十周年を迎え、記念式典・祝賀会やJF全国おさかなまつりを開催したところでありませう。この半世紀の間、漁船海難遺児育英事業の充実が勿論のこと、二〇〇海里全面適用運動と国連海洋法条

賀正



全国漁協女性部連絡協議会

会長理事 北崎初恵

また、奨学生の皆様には、ご協力をいただきありがとうございます。また、国民に対する水産物の安定供給を担う漁業者の皆様には、安全操業に日々努められ、くれぐれも事故のないよう十分ご注意して漁業を営んでいただきますようお願い申し上げます。

また、国民に対する水産物の安定供給を担う漁業者の皆様には、安全操業に日々努められ、くれぐれも事故のないよう十分ご注意して漁業を営んでいただきますようお願い申し上げます。また、国民に対する水産物の安定供給を担う漁業者の皆様には、安全操業に日々努められ、くれぐれも事故のないよう十分ご注意して漁業を営んでいただきますようお願い申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様にはさすがしく、新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。学業をはじめスポーツや家業のお手伝いなどに励まれておられます奨学生の皆様と、お子様の成長を励みに、日々漁業に精進されたいまさら、本年がご壮健で夢と希望に満ちあふれた一年となりますことを、心からお祈り申し上げます。幸いなことに私も漁協女性部も、漁業が依然として厳しい状況





第22回全国豊かな海づくり大会

長崎県佐世保市

平成十四年十一月十七日、「ゆめ・未来 ひらく豊かな海づくり」をテーマに、第二十二回全国豊かな海づくり大会（豊かな海づくり大会推進委員会・長崎県主催）が、市政百周年を迎えた長崎県佐世保市において盛大に執り行われ、全国から約五〇、〇〇〇人が集まりました。



▲ ボクも募金できるよ

この大会は、水産資源の維持培養と海の環境保全に対する国民の意識の高揚を図るとともに、水産業に対する認識を深めるための国民行事として、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、昭和五十六年から毎年実施されております。今年も、大会史上初となる分離会場での開催となり、「アルカスSASEBO」大ホールでは記念式典が、「西海パルリゾット」では海上歓迎及び放流行事がそれぞれ行われた他、歓迎アトラクション会場となった「ポートルネッサンス二十一計画用地」（佐世保市三浦町佐世保港裏埋立地）には、環境保全・海洋最先端技術等を紹介したテーマ館や、ながさき「特産品」市

▼ 賑わう会場での募金活動

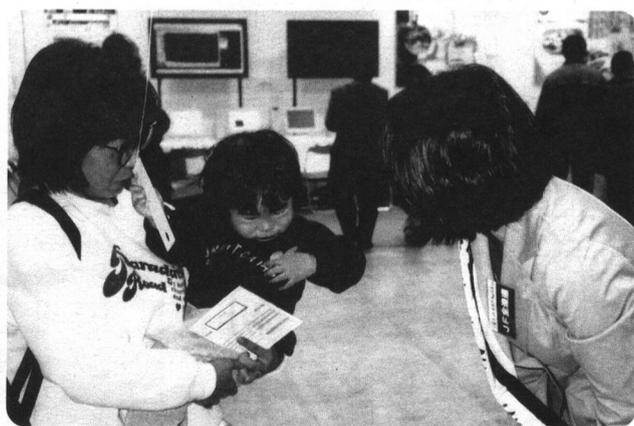


▲ ご協力をお願いします!!

場、特設ステージが設置され、様々なイベントと熱気あふれるパフォーミング大会を大いに盛り上げました。また、同会場内では、長崎県水産高校（西夏樹教諭他一・三学年の生徒計一六名）並びに長崎県漁連職員の方々により、朝早くから募金活動が行われ、生徒の皆さんの明るい笑顔と熱心な呼び掛けに、会場を訪れた多くの皆様から温かいご支援を賜ることができました。大会関係者をはじめ、ご協力いただきました皆様にも心より感謝申し上げます。なお、次回大会は、平成十五年十月五日に島根県浜田漁港にて開催されます。

JF全国おさがなまつり

平成十四年十一月二十一日（金）二十四日（日）の三日間、千葉市・幕張メッセにおいて「JF全国おさがなまつり」（JF全漁連・JFグループ主催）が開催されました。このおまつりは、消費者の皆様を中心にこのたび初めて開催し、北海道から沖縄まで全国のさまざまな水産物や、おいしい海の幸をその場で調理した惣菜などが販売されました。また、つみれ汁などの無料配布や、今や大ヒットソングとなった「おさかな天国」のダンス教室をはじめとした、多くのイベントもあり、会場は大盛況。連日、開場時間の前には行列ができました。本会も会場内で募金活動を行いました。



第五十四回全国漁港漁場大会

（社）全国漁港協会（坂井淳会長）主催による「第五十四回全国漁港漁場大会」（全国漁港大会より改称）が、平成十四年十月十七日、福井県武生市のサンドーム福井にて、全国の漁港漁場関係者約二、九〇〇人を集め、盛大に開催されました。

当日、会場入口では、日頃から育英事業の窓口としてお世話になっております福井県漁連並びに各団体職員の方々を中心に募金活動が行われ、参加者の皆様から多大なるご支援をいただきました。

（社）全国漁港協会をはじめ、大会関係者のご協力に深く感謝申し上げます。



メールアドレスのお知らせ

平成14年3月のホームページ開設に引き続き、11月よりインターネットを接続し、本会専用のメールアドレスを設定いたしました。奨学金に関するご質問や「育英会だより」へのご意見・ご感想等、下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp

※お願い

メールによるお問い合わせの際には、奨学生は奨学生番号を、「励ましおじさん・おばさん」寄付者の皆様は寄付者番号を（ともにA・Bからはじまる7桁の番号）必ず氏名とともにご記入いただきますようお願いいたします。

全国漁協 代表者集会

去る十一月二十二日（金）、ホテルニューオータニ幕張（千葉市千葉市）において「全国漁協代表者集会」が全国の漁協代表者六〇〇名を集めて開催されました。

会場内ロビーでは、本会職員による募金活動を行い、来場された皆様からたくさんのご協力を賜ることができました。

関係者の皆様をはじめ、ご支援いただきました多くの皆様にご協力に深く感謝申し上げます。

いわし料理の会

十月四日の「イワシの日」にちなみ、(社)いわし食用化協会主催による『いわし料理の会』が東京都中央区松坂屋銀座店内お好み食堂にて開催されました。

当日は、相沢会長夫人で女優の司葉子さんやタレントのさかなくんをはじめとする水産関係者約九〇名が出席し、テーブルに並んだ寿司・天ぷら・煮物などのイワシ料理に下鼓を打ちながら、今や高級魚となったイワシの普及を願いました。

また、会場内では同協会のご協力のもと本会職員による募金活動も行われ、相沢会長の呼び掛けに、出席された多くの皆様から温かいご支援を賜ることができました。ここに深く感謝申し上げます。



アップルクラブバザー

平成十四年十一月一日(金)・二日(土)の二日間、「奉仕の箱アップルクラブ」(世話人代表・水川晴海、事務局・東京都北区上十条三一二七-十水川内科内)主催による海難遺児支援バザーが北区十条商店街の店舗にて開催され、本会職員も両日参加しました。

日頃から使用済みの切手・プリペイドカード類、ベルマークの回収など様々な奉仕活動を熱心に行い、その収益や会費等を本会並びに多くの福祉団体へ寄付されているアップルクラブでは、このバザーについても奉仕活動の一貫として毎年開催しており、会員皆様の呼び掛けによって洋服・雑貨類を中心にたくさん品物が集まり販売されます。

広い店内が狭く感じるほどに商品が並べられ、バザー開催を知り

平成十四年度

第三回選考委員会

去る平成十四年十月三十日、平成十四年度第三回選考委員会が開催され、『第三回奨学生出願者』(平成十四年十月十五日締切り)の選考』について審議されました。

この結果、幼稚園・小中高等学校在学の学資給与奨学生四名、大学等在学の貸与奨学生一名、合計五名の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた平成十四年十二月末日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」とのとおりです。

保護者からのお便り

＊いつもお世話様です。おかげ様で、塾講師になって大人の道を一歩踏み出した感じです。
(北海道 大坂明美)

＊娘は専門学校に進学し、色々な資格検定に頑張っています。二男は、新しい友がいっぱい出来た様です。また、社会人となった長男は、社会の厳しさを学んだ様です。主人が他界して十一年。夢中でした。でも、皆様に助けていただき、本当に感謝します。
(北海道 斉藤富美子)

＊初めての一人暮らしから、早いもので八カ月が過ぎようとしています。今、本人は介護の学校でガンバッテいます。
(北海道 本田礼子)

＊大変お世話になっております。息子は来春の卒業に向かって頑張っております。
(宮城県 阿部保子)

＊四歳で父の死別を味わった娘が二十歳です。これから就職活動、苦戦しています。
(福島県 吉原美代子)

＊いつもお世話様です。大学生活も残り少なくなりました。卒業までよろしくお願い致します。
(山口県 玉一和恵)

＊娘三人、素直に育ってくれ、私の生きていく励みになっていきます。長女、二女も奨学金を貸していただき、それぞれ大学を出て、農業指導員、助産師として働いています。末の娘も夢に向かって勉強中。皆さんに支えられ二十年。ありがとうございます。
(徳島県 濱崎トミエ)

＊毎月、奨学金がありがとうございいます。本人も毎日がんばっています。
(福岡県 川口季子)

＊この度は、奨学生に採用下さいましてほんとうにありがとうございます。母子共々がんばりますので、今後ともよろしくお願い致します。
(長崎県 原田寿美江)

＊送金ありがとうございます。早いもので卒業まであと少しとなりました。いろいろな方の力添えで今日があると感謝しております。本人はまだ進路が決まらず、多少イライラしている様子ですが、これからは少しでも人の為に何かで
(宮崎県 吉村恵子)

＊息子は毎日目標に向かって元気に頑張っています。
(熊本県 岡本つね子)

＊いつもお世話になりありがとうございます。息子は元気に学校にも通学して、修学旅行も二月に予定しています。娘は、国家試験にむけてがんばっております。
(佐賀県 中邑綾子)

寄付(募金)のお願い

本会の育英資金は、多くの善意の方々から寄せられた寄付金で基金をつくり、その運用益で賄っております。基金は未だ十分とはいえないため、多くの方のご協力をお願いしております。

送金方法

郵便局及び本会の指定する金融機関にお振込みの際、本会の振込用紙をご利用いただければ、振込手数料は免除になります。ご連絡くださいればお送りいたします。

郵便振替口座

口座番号 〇〇一五〇一七一一三二一七五
口座名義 財団法人 漁船海難遺児育英会

また、高校・大学等奨学生に貸与する奨学金をある期間、定期的にご支援いただく、「励ましおじさん・おばさん」のご加入もお願いしております。ご希望の方はお問い合わせください。

財団法人 漁船海難遺児育英会
TEL 〇三三二五六一九八一
FAX 〇三三二五六一九八二
(二十四時間受付)

「育英会だより」の原稿をお待ちしています

◎題材は自由です。最近の出来事や、詩、随筆、奨学生への励まし、「育英会だより」に対するご意見、ご要望をお寄せください。
◎原稿は八百字以内で、顔写真を添えて本会までにお送りください。
◎イラスト、写真もお待ちしております。

◎原稿は、随時受け付けております。
◎掲載の方には、図書券を贈呈します。

お問い合わせ先

〒一〇一〇〇四七
東京都千代田区内神田二二一五
光正ビル内
財団法人 漁船海難遺児育英会
TEL 〇三三二五六一九八一
FAX 〇三三二五六一九八二
(二十四時間受付)

